

JA SINTOKU



戌

新年号

2018

迎春

1

No. 270

新年にあたり



J A 新得町 代表理事組合長
太田 真弘

して特に小麦、馬鈴薯、てん菜は平年を大きく上回る出来となり一昨年とは対象的な結果となりました。

一方畜産は乳価の上昇、又乳牛、肉用素牛、肉用肥育などの販売頭数の伸び、又個体価格の高止まり等で大幅に

販売額が増え平成29年度の農畜産物の販売額は前年を大きく上回ると予想しているところであります。一昨年の大きな災害も含めてこの数年販売額を落とす事なく伸ばし続ける経営姿勢に心より敬意を表するところです。又昨年は日本農業のグローバル化が一層進んだ年でもありました。春先に欧州との貿易交渉が急浮上するとあれよあれよと瞬く間に7月には日本とEUのEPA大筋合意、11月にはTPP11の大筋合意と国際間の貿易交渉に翻弄される一年であります。これらは北海道農業にとって大きな影響があるだけに生産者の皆様には大きな不安と懸念を抱かせることと察するところであります。

政府は2017年の補正予算で農業関係で四千六百八十億円の内TPP、EPA対策で三千百七十億円。この内チーズ対策で百五十億円、又農家の経営体質強化として畜産クラスター事業に五百七十五億円、産地パワーアップ事業に四百四十七億円、てん菜、馬鈴薯の畑作の構造転換事業に三十億円等の予算措置を閣議決定されました。

この様な状況の中での作柄ですが全ての作物が平年並み以上であります

私達はこれらの事業を積極的に活用し経営強化を図りながら同時に協定内容の丁寧な説明と継続的な影響額の検証と対策を政府に働きかけていきたいと考えています。
昨年11月21日のJA北海道大会は新規担い手の倍増と550万人サポートづくり、准組合員制度をテーマにJA北海道実践フォーラムが開催されました。少子高齢化で農家戸数が減少する中で新規担い手の確保は最重要課題であります。地域社会は勿論、国も一体となつた、より積極的な対策が必要であると思うところであります。又私達、地域の農協は准組合員である町民の皆様に一層農協を理解してもらい一緒に地域社会を守つてゆく事が最後には550万人のサポート一づくりに繋がつていくと再認識したところであります。

一方町内では一昨年から立ち上げた3つの事業が稼働を始めました。シントクアユミルクも皆様に支えられ一年半が経過し順調に生産を伸ばし平成29年度は五千トン超えの生乳を生産し又研修機能もしつかり果たしているところです。又屈足バイオガスプラントも春から本格稼働を開始しーシーズン糞尿処理と消化液の散布を行つたところです。臭気対策と消化液の効用では一定の評価を得

ます。
本年2月で本農協も創立70周年を迎える事となります。2月2日には記念式典、記念誌の発行と現在進めているところでありますので皆様のご協力をお願い申し上げます。今日の新得農業を鑑みますと先人達の苦労と偉業に心から敬意と感謝をするところであります。

現在農業は大きな転換期の中になります。私達もしっかりと目標をも基本である組合員、皆様の生活と経営を守る為、役職員一体となつて最善の努力をして参りますので変わらぬご指導とご協力をお願い申し上げます。結びになりますが組合員とご家族皆様の益々のご健勝と災害なく豊穣の秋を迎えられます事を心よりお祈り申し上げ新年の挨拶と致します。

次世代に繋げる



J A 新得町青年部
部 長 若 杉 真 吾

新年、明けましておめでとうございます。日頃より農協関係各位の皆様に感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと春の蒔き付けも順調に進み作物も平年並みに推移してしまったが、9月18日の台風18号による大雨や強風により、畠の冠水や収穫期のデントコーンが倒伏してしまいました。しかし作物の収量的には恵まれ、全体としては良い出来秋を迎えたのではないでしようか。ただここ数年、毎年のように自然災害の被害を受けている状況を考えますと自然や気候に大きく左右される一次産業の不安定さを感じずにはいられません。一方で我々農業を取り巻く環境は自然災害だけではないのが現状です。日欧EPAやTPP11などの国際貿易交渉などで、依然農業情勢が厳しさを増す中、本当に国内生産維持・拡大はで

きるのか、丁寧な検証と国内対策が欠かせません。

また近年、日本の産業全体の問題として、安心・安全なものを安定的に供給するという基本的なことが疎かになっているのではと感じられます。食品業界の食品偽装や食中毒問題などの食品事故はいまだ無くならず、工業分野でも国内製造業大手の不祥事が相次いで発覚しました。品質管理が軽視され、消費者の安全が脅かされるとともに、世界に誇ってきた「メイドインジャパン」の品質への信頼が大きく揺らぐ事態になっているのではないか。はたしてこのよつな状況で、我々が日々、汗水流して作っているものを消費者に選んでもらえるのか、私達は生産者自らが、安心・安全を消費者に証明していかなければならぬのだと思っています。そんな中、青年部として



総会勉強会

何が出来るのかという事を皆で話し合い、今年新たな試みである学校給食プロジェクト「Sランチ」を立ち上げました。SランチとはShintoku産食材でSPEで提供しようというプロジェクトです。顔のみえる地元生産者が作った食材を使うという安心を提供して、子供達に少しでも食の魅力を感じてもらい、農業に関心をもつてもらえたたらという思いから始まりました。その結果、子供達にはとても喜んでもらうことができます。



レディースファームスクール生との交流会

来年、次回への要望もいただき、初年度としては最高の形でプロジェクトのスタートをきることができました。また、昨年の全道青年部実績発表大会でこのプロジェクトを平一真君が発表して最優秀賞をいただきました。とても、名譽あることだと思います。プロジェクトにご協力頂いた関係者の皆様には、この場を借りて心より感謝を申し上げます。

今回、青年部部長という大役を経験させて頂きましたが、その中



秋祭りにてハンバーガーを販売

での沢山の仲間との出会いや自らが感じた事、組織を動かすことの難しさを学ばさせていただきました。ここまでやつてこれたのも部員の皆や片桐君、そして家族や会社の皆の支えのおかげだと思っております。

これからもJA新得町青年部としての誇りを持ち、地域との繋がりを大切にし、安心・安全を基本とした地域農業の魅力や可能性を仲間と共に次世代に繋げていきたいと思います。



Sランチ 青年部

J A 青年部を中心に役場、給食センター、JA、フレッシュユオツ葉会が協力し一昨年度から「子供達に新得産のみの食材を使用した安心・安全な学校給食の提供」をテーマにプロジェクトチームを発足し、会議を重ね取り組んで参りました。一昨年は台風の影響で断念しなければならない状況に追い込まれました。

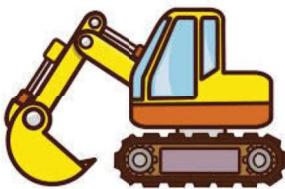
最後になりましたが、皆様にとってこの新しい年が素晴らしい年となりますよう心より祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

JA青年部を中心に役場、給食センター、JA、フレッシュユオツ葉会が協力し一昨年度から「子供達に新得産のみの食材を使用した安心・安全な学校給食の提供」をテーマにプロジェクトチームを発足し、会議を重ね取り組んで参りました。一昨年は台風の影響で断念しなければならない状況に追い込まれました。

JA青年部としてはこれからもこの活動を続けていきたいと考えております。



青年部から
本活動にご協力頂いた生産者
並びに各関係機関の皆様へ
今回この活動がこのような成果
をあげられたのは新得町の生産者、
並びに各関係機関皆様のご協力あつ
てのものと感謝しております。大
変お世話になりました。
次年度も本活動に際しご支援ご
協力を賜る事となりますので、何
卒よろしくお願ひ申し上げます。



昨年から組合員の方々に直接、農業センターへ搬入して頂き、青年部が降ろす手伝いをするという形をとらせて頂いております。今年も皆様のご協力の下、円滑に進められることができました。来年以降も同様の形で実施させて頂きますので皆様のご協力を引き続きお願い致します。

11月20日、青年部による農薬空容器回収作業が行われました。
青年部では環境への取り組みとして、年間行事計画に組み入れ、回収作業を実施しております。

農薬空容器回収

11月13、14日に今年2回目の農業用廃プラスチック回収が農業センターで行われました。当団は青年部と役場担当者が回収作業に立会い、約66トンを回収しました。
来年度以降も回収にご協力お願い致します。

廃プラスチック回収

11月27日、ホテル日航ノースランド帯広にて、第42回JA十勝青年部大会が開催されました。
今大会は「紡ぐ豊かな農を守り未来へ」をテーマに「JA青年部活動実績発表」「動画で発信！農の魅力コンテスト」「分科会」等の内容を実施しました。

第66回全道JA青年部大会

第42回JA十勝青年部大会



第42回JA十勝青年部大会

J A 新得町青年部からは若杉部長を含めた6名の部員が参加しました。

今年は「活動実績発表」にてJA新得町青年部（発表者：平一真君、補助者：井上和哉君）が最優秀賞を受賞致しました。この為12月7、8日で行われる全道大会へと進むことが決りました。

青年部ではこの受賞を誇りに今後の活動への原動力とし、更なる飛躍へと挑戦していきます。



第66回全道JA青年部大会



同部は十勝青年部大会にて「活動実績発表」で最優秀賞を受賞、本大会でも平一真君と井上和哉君発表の下、最優秀賞を受賞しました。これは十勝地区代表としては9年ぶり、JA新得町青年部としては初の快挙となります。

今後は1月17、18日に開催される東北・北海道ブロック大会へと進みます。

A 新得町青年部から7名の部員が参加しました。

全道JA青年部大会ではJA新得町青年部から7名の部員が参加しました。

前進する女性部

J A新得町女性部



部長 平かよ子

あけましておめでとうございます。

女性部員の皆様をはじめ組合員の皆様、関係機関の皆様には日頃より女性部活動にご協力、ご指導、ご支援頂き誠にありがとうございます。

昨年は今迄の流れとは違う行事を決め活動して参りました。送迎の付いている所を選び食事をしながらゆっくりした時間を過ごし、お話を楽しんだ新年会をはじめ、花や土を持ち寄ったフラワーBOX設置、収穫感謝祭での野菜市の協力、11月には生活アイデアサミット（手作り品の持寄り）など、よつ葉会の皆様にもご協力頂き、これらの行事を執り行う事ができました。本当にありがとうございました。

今年は女性組織そのものを今一度学び追求し、さらに自分達のJAに興味を持ち考え、命を守る食に携わる農業に誇りを持ち、日々多忙を極

める仕事の中で、少しでも充実した時間を実感できるような活動を皆さんと共に、意見を出し合い、実施していければと考えております。楽しく働くにはやはり健康。体づくりの研修もこれから増やしていきたいと考えております。

最後に本年も皆様にとりまして健康で希望に満ちた良い年になりますよう心よりご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせて頂きます。



女性部宿泊視察研修



収穫祭野菜市場



「牧場ママ」イベント



フラワーBOX設置作業

JJA 女性部

生活アイデアサミット



11月22日、JA女性部とフレッシュ部生活アイデアサミットを開催いたしました。本イベントは2月に行われた「料理持寄り大試食会（仮称）」から名称の応募を募り決まりました。

今回は前回より少ない参加人数となりましたが40品以上の料理や手芸品が出品展示されました。女性部とよつ葉会が合同で行う数少ないイベントの中で互いのコミュニケーションを図る絶好の場となりました。

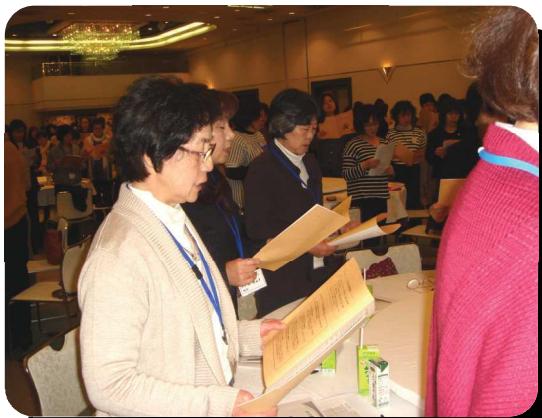


J A十勝地区女性協議会

研修会

12月12、13日と幕別町の木テルグランヴィリオにて「平成29年度J A十勝地区女性協議会研修会」が開催されました。

J A女性組織の新3か年計画「J A女性ふみだす勇気学ぼう・伝えよう・地域とともに!」をテーマに開催されました。1日目は「効率のよい整理整頓方法キツチン編」
II講師 松井香織氏」「介護予防体操(実演)」「乳がん検



診を受けましょう・子宮がん検診を受けましょう!!講師 帯広厚生病院保健師 久道由希子氏」の3つの研修が開催され、2日目には「最近事の農業情勢について」「健康寿命を伸ばしてイキイキライフ!!講師 保科真緒里氏」の2つの研修が行われました。



12月2日、フレッシュヨツ葉会の日帰り視察研修が行われました。今回は千歳市にある防災学習交流センター(そなえーる)にて研修を行いました。

本施設では地震体験や煙避難体験など災害が発生したときの行動や防災に関する知識を学ぶことができました。

フレッシュヨツ葉会

第2回料理講習会



12月11日、屈足の農村環境改善センターにて今年2回目の料理講習会が行われました。

今回の内容は「ソーセージ作り」で講師に平かよ子さん(女性部部長)を迎えて開催されました。

会員の中でも人気の高いソーセージ作り、実際に出来たソーセージにも大満足の様子でした。

農協法公布記念 職員研修会

11月19日は農協法が公布された記念日であり、毎年この時期には職員の研修会を開催しています。本年は11月17日にサホロリゾートにて職員67名参加の中、コンプライアンス研修会を実施いたしました。



講師には北海道中央会帯広支所長、植田尚典氏を講師にお招きし不祥事の防止等について約1時間半程の研修を行いました。



役員研修 ～鳥取県～

11月29日～12月1日にかけ理事と監事による道外役員研修が実施されました。

研修先は畜産部と取引のある鳥取県内のJ A鳥取中央、(株)西日本ジェイエイ畜産、(有)とうはく畜産、JAとつとり西部、鳥



取県畜産試験場を訪問いたしました。特に(株)西日本ジェイエイ畜産、(有)とうはく畜産について町内から出荷された肉牛の販売先で30年を超える長い

新穀感謝祭

11月23日に新得神社にて新穀感謝祭が行われました。同祭は毎年勤労感謝の日に

12月6日～8にかけ新得、佐幌、上佐幌、屈足、トムラウシの5つの地区に会場を設け地域懇談会が開かれま



地域懇談会

行われ、飯田神司のもとJA役職員と関係団体が共に出席し今年の収授に感謝致しました。



第30回収穫感謝祭



10月21日JA事務所前で第30回収穫祭が行われました。今年の収穫祭は昨年までの二日間開催を一日開催にし、その分テナント・イベントの内容を盛り沢山にしました。その結果、例年と比べて倍以上のお客様にご来場いただきました。

来年度以降もお客様にご満足いただけるお祭りを目指して参ります。



丙種
リ 前田 高嶋 鈴木 谷垣 橋本 舞子
佐々木純子 一登 あきな 彩香
安藤 泰司 職員 職員 職員 職員
主任 職員 主任

乙種
4級

初級 浜田 俊介 職員
リ 前田 穂乃花 職員
中級 一登 係長
リ リ 鈴木 あきな 職員
谷垣 彩香 職員
橋本 舞子 職員
職員

危険物取扱者

職員資格

北海道農業協同組合
平成二十九年度資格取得者

いつでもどこでも、みんなのJA

元気って納得JA 一協同組合の力

Q JAが発揮している「インフラ機能」って、何?

A 「耕そう、大地と地域のみらい。」をスローガンに、未来に向けて発揮する、地域を支える機能のことです。

J Aは、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」です。助け合いの精神のもと、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を目的としています。

J Aは、組合員と地域住民の皆さまの暮らしを、総合事業を通じて支えると共に、豊かな仲間づくりや、次世代に地域をつなぐための活動を応援することで、地域を支えるインフラとしての機能を発揮しています。

そして、消費者の皆さまの信頼に応える安全・安心な国産農畜産物を安定的に供給するため、農業振興を最重点課題として取り組み、生産者と消費者の懸け橋になることで地域の未来を支えるインフラ機能を担うために、JA自己改革を進めています。

(監修=広島大学 助教 小林元)

JAが発揮している主なインフラ機能



*インフラ機能はJAごとに異なります。



耕そう、大地と地域のみらい。



冬型の気圧配置になると、全国的に北西の風が吹き寒くなります。日本海側は雪が降り、太平洋側は晴れの天気となります。暖冬傾向の冬は、等圧線が縦じまに並ぶことが少なくなります。冬型の気圧配置が長続きせず、寒い日が少なく、日本海側の雪の量も少なくなります。このようなときは、等圧線が横になつて並び、横しまになることもあります。冬の典型的な形から外れているということで、私はこれを「よこしまな天気図」と呼んでいます。

テレビの気象情報では、天気図で気圧配置の解説をすることがあります。その中で、最も一般に広く知られているといつてもいいのが「冬型の気圧配置」ではないでしょうか。大陸に高気圧、日本の東に低気圧、西高東低となり、等圧線は縦に数多く並びます。冬は、この縦じまの天気図になることが多いです。

縦じまの天気図



気象予報士 株式会社ハレックス) ● 檜山靖洋

理事会の動き

第9回 11月24日開催

報告事項

第1号	組合員の出資減口申込者及び 協議事項	出資譲渡（受）・加入申込者について 内部監査の結果について	第1号	出資譲渡（受）・加入申込者について 内部監査の結果について
第2号	職員の年末手当支給について 常例検査の改善状況報告	地域懇談会の提出議案について 大口信用供与先への貸付について	第2号	出資譲渡（受）・加入・脱退申込者について 内部監査の結果について
第3号	職員の年末手当支給について 常例検査の改善状況報告	内部監査の結果について 平成29年度JA新得町収穫祭の売上について	第3号	主要勘定及び損益対比について 申込者について
第4号	職員の年末手当支給について 常例検査の改善状況報告	平成29年度JA新得町収穫祭の売上について 帯広税務署による税務調査の結果について	第4号	余裕金の運用状況について 組合員勘定のシステム変更と今後の取り進めについて
第5号	職員の年末手当支給について 常例検査の改善状況報告	平成29年度JA新得町収穫祭の売上について 平成29年産主要農産物取扱実績について	第5号	余裕金の運用状況について 組合員勘定のシステム変更と今後の取り進めについて
第6号	職員の年末手当支給について 常例検査の改善状況報告	平成29年度JA新得町収穫祭の売上について 見込について	第6号	余裕金の運用状況について 組合員勘定のシステム変更と今後の取り進めについて
第7号	職員の年末手当支給について 常例検査の改善状況報告	平成29年度JA新得町収穫祭の売上について 10月末畜産物取扱実績について	第7号	余裕金の運用状況について 組合員勘定のシステム変更と今後の取り進めについて
第8号	職員の年末手当支給について 常例検査の改善状況報告	平成29年度JA新得町収穫祭の売上について 町畜育成牧場の10月末預託状況について	第8号	余裕金の運用状況について 組合員勘定のシステム変更と今後の取り進めについて
第9号	職員の年末手当支給について 常例検査の改善状況報告	平成29年度JA新得町収穫祭の売上について (株)シントクアユミルク収支見込みについて	第9号	余裕金の運用状況について 組合員勘定のシステム変更と今後の取り進めについて
第10号	職員の年末手当支給について 常例検査の改善状況報告	平成29年度JA新得町収穫祭の売上について その他	第10号	余裕金の運用状況について 組合員勘定のシステム変更と今後の取り進めについて

第10回 12月22日開催

報告事項

第1号	組合員の出資減口申込者及び 協議事項	出資譲渡（受）・加入・脱退申込者について 内部監査の結果について	第1号	出資譲渡（受）・加入・脱退申込者について 内部監査の結果について
第2号	職員の年末手当支給について 常例検査の改善状況報告	地域懇談会の提出議案について 大口信用供与先への貸付について	第2号	主要勘定及び損益対比について 申込者について
第3号	職員の年末手当支給について 常例検査の改善状況報告	内部監査の結果について 平成29年度JA新得町収穫祭の売上について	第3号	主要勘定及び損益対比について 申込者について
第4号	職員の年末手当支給について 常例検査の改善状況報告	平成29年度JA新得町収穫祭の売上について 北海道酪農体质強化対策費の支払いについて	第4号	主要勘定及び損益対比について 申込者について
第5号	職員の年末手当支給について 常例検査の改善状況報告	平成29年度JA新得町収穫祭の売上について 固定資産の取得について	第5号	主要勘定及び損益対比について 申込者について
第6号	職員の年末手当支給について 常例検査の改善状況報告	平成29年度JA新得町収穫祭の売上について 平成28肥料年度「肥料年間特約協同購入運動」による系統化学肥料共計精算の割戻しについて	第6号	主要勘定及び損益対比について 申込者について
第7号	職員の年末手当支給について 常例検査の改善状況報告	平成29年度JA新得町収穫祭の売上について ホクレントラック事業所の廃止について	第7号	主要勘定及び損益対比について 申込者について
第8号	職員の年末手当支給について 常例検査の改善状況報告	平成29年度JA新得町収穫祭の売上について 事業収支内訳について	第8号	主要勘定及び損益対比について 申込者について
第9号	職員の年末手当支給について 常例検査の改善状況報告	平成29年度JA新得町収穫祭の売上について 11月末畜産物取扱実績について	第9号	主要勘定及び損益対比について 申込者について
第10号	職員の年末手当支給について 常例検査の改善状況報告	平成29年度JA新得町収穫祭の売上について 事業収支内訳について	第10号	主要勘定及び損益対比について 申込者について
第11号	職員の年末手当支給について 常例検査の改善状況報告	平成29年度JA新得町収穫祭の売上について 11月末畜産物取扱実績について	第11号	主要勘定及び損益対比について 申込者について
第12号	職員の年末手当支給について 常例検査の改善状況報告	平成29年度JA新得町収穫祭の売上について 事業収支内訳について	第12号	主要勘定及び損益対比について 申込者について
第13号	職員の年末手当支給について 常例検査の改善状況報告	平成29年度JA新得町収穫祭の売上について 事業収支内訳について	第13号	主要勘定及び損益対比について 申込者について

J A グループ通信

J A グループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

J A 北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBSITEをご覧ください。

J A 北海道中央会

【食と農のイベントを初開催】

「北海道アグリ・フードプロジェクト」が11月に札幌市で開催され、JAグループ北海道も企画主体となりブース出展やステージ企画を実施しました。道内各地の農畜産物や加工品の試食・販売をはじめICT関連最新技術の紹介まで全道の出展者が集まり幅広いブースを開設。農業関係者や消費者の皆さん等、約8,000人の来場者が訪れ、農業の最先端技術に触れる場や、北海道農業の魅力発信の場としての大きな役割を果たすイベントとなりました。



J A 北海道信連

11月に農業経営者支援の一環として、今年で7回目となる「農業経営フォーラム」を開催しました。

(株)もち米の里ふうれん特産館の堀江代表取締役に『創業からこれまでのあゆみ』を、NPO法人失敗学会の飯野副会長に失敗を成功のもととする『失敗学』をテーマに講演頂きました。参加者からは、「大変勉強になつた」「失敗から学ぶことの大切さを教わった」など好評を頂きました。



ホクレン

L I N E @等を活用した生産者

向け情報発信サービス「ホクレンインフォメーション」では、



生産者の皆様に向けたイベントや新商品の情報、生産資材(飼料や農薬など)価格、スマート農業情報などの営農情報をタイムリーに発信しております。今後とも生産者の皆様に役立つ情報を発信して参りますので、ぜひ、お手持ちのスマートフォンやパソコン(<http://hokuren-news.jp/>)からご登録ください。

J A 共済連北海道

11月22日・23日に開催された「北海道アグリ・フードプロジェクト」で、オリジナルキャラクター『ひとのわぐま』の的当てゲームを実施し、多くの方に楽しんでいただきました。

地域貢献活動の紹介やキャンペーンチラシを景品と共に配布し、JA共済連北海道の活動を知つていただく機会となりました。今後もこのようなイベントを通して、JA共済の周知に取り組んでまいります。



J A 北海道厚生連

J A 家庭介護教室では、



高齢化の進展に伴いさらに増加することが見込まれている認知症高齢者への支援として「認知症サポート1100万人キャラバン運動」を開催し、認知症を正しく理解し支援する「認知症サポート」の養成や安心で安全な家庭介護実践のための正しい技術や知識が習得できる講義・実技演習を実施しました。安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取り組みを継続して参ります。



point /

ソースが重くなってしまったら、ゆで汁でのばすとgood。

ホウレンソウとベーコンのパスタ

材 料 (2人分)

平打ちパスタ	200g	アンチョビ	2枚
ベーコン	2枚	ニンニク	1片(みじん切り)
ホウレンソウ(ゆでた物)	100g	タカノツメ	1本
ミニトマト	2個	オリーブ油	適宜
生クリーム	1カップ	塩・こしょう	適宜
白ワイン	大さじ1		

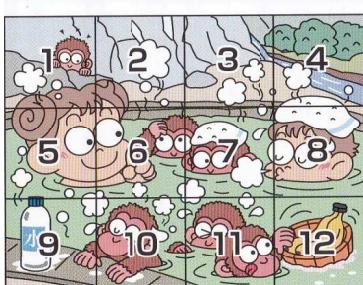
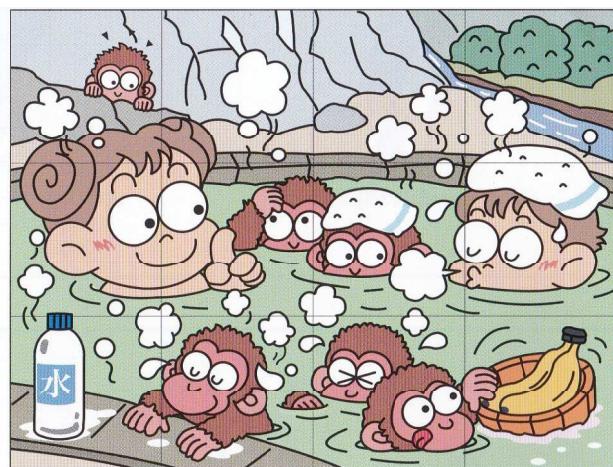
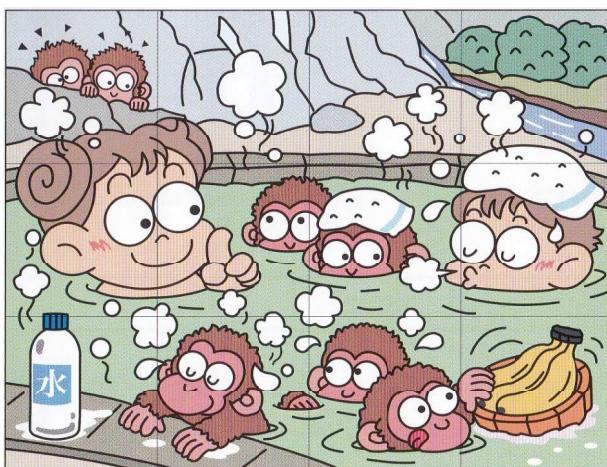
作 り 方

- (1) テフロンのフライパンに半分に切ったベーコンを入れ、両面を焼き取りしておく。
- (2) (1)のフライパンにオリーブ油、ニンニク、タカノツメ、アンチョビ、半分に切ったミニトマトを入れ弱火で香りを移し、白ワインを振りアルコールを飛ばす。
- (3) (2)に、ゆで時間より1分早くあげたパスタ、生クリーム、ゆで汁1/4カップ、包丁でたたいて細かくしたホウレンソウと、(1)で取り出したベーコンを入れ手早く絡め、塩・こしょうで味を整える。

新年号お年玉クイズ

? まちがいさがし ?

右のイラストには左のイラストと違う部分が5ヵ所あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。



『応募方法』

折込申込用紙にクイズの答え、住所、氏名、イラスト等をお書きの上、期日までにFAXまたは管理課まで提出して下さい。
正解者の中から抽選で10名の方にエーコープ商品券を差し上げます。

**応募締め切り
2月8日(木)必着**